

9月・10月の管理ポイント

土壌水分をコントロールして
土壌環境を整えましょう



レボ (REVO)

厳しい暑さの8月が終わり9月の残暑が過ぎると、ベントグラスの活動が活発になるシーズンが漸くやってきます。気温が下がる前に、ダメージを受けたベントグラスを出来る限り回復させる為土壌環境を整えましょう。レボを処理すると、土壌中の過剰な水が排出されて気相が増えベントグラスが生育しやすい土壌水分環境になります。 **使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回**

レボキャンペーン中！

キャンペーン期間中にレボをご購入頂いたゴルフ場様に

3ℓ計量カップを1個プレゼント

更に、ご購入累計10ケース毎に計量カップを1個プレゼント

キャンペーン期間：2017年4月1日~2017年10月31日



肥料をより効率的に グリーンシナジー

グリーンシナジーは米国アクアトロールス社のシナジーテクノロジーを使った浸透剤です。シナジーテクノロジーとは、芝生に施用した資材や肥料を根圏に導き、効率よく植物に吸収され利用されることで、資材や肥料の溶脱を低減し、利用効率を高める界面活性剤の特許技術です。資材や肥料との相溶性が高く、相乗効果（シナジー）をもたらします。

使用量：1-2ml/m²/月 散布水量：100ml-1ℓ/m² 使用方法：資材の散布時にタンクミックス

土壌中の有害物質除去に 光合成細菌

夏場の高温ストレスから、少しでも早くベントグラスを回復させるために、土壌中の硫化水素など根に直接影響を与える有害ガスを軽減させましょう。光合成細菌とマリンパワーを組み合わせることで、嫌気性の土壌を改善し、好気性の有用菌の定着を目指します。 **使用量：1~5ml/m² 散布水量：1ℓ/m²**

弱ったベントと土壌菌数の回復に グリーンメカ

残暑の厳しい9月は高温による芝の呼吸量が増加し、糖含有量は減少します。また、10月に入るとベントの生育期となり、糖の消費量も増大します。糖が少なくなると特に根に影響を与えるので、グリーンメカでしっかり補給していきましょう。 **使用量：2-10ml/m² 散布水量：1ℓ/m²**

害虫発生にあわせて スティンガーフロアブル

9月は、スジキリヨトウ・シバツトガ・タマナヤガの重要な防除シーズンです。特に、鱗翅目害虫は発生ピークが長く、数種類で混在して芝生を食害するので、殺虫剤のローテーション散布が必要です。スティンガーフロアブルは、グリーンで1ヵ月、ラフ・FWで2ヶ月以上の効果が期待できるので、ローテーション散布の基幹剤としてご使用いただけます。

使用量：スジキリヨトウ0.035ml/m² (水量50-200ml) シバツトガ、タマナヤガ0.05ml/m² (水量50-500ml)

サッチ層の除去には サッチ・マネージャー

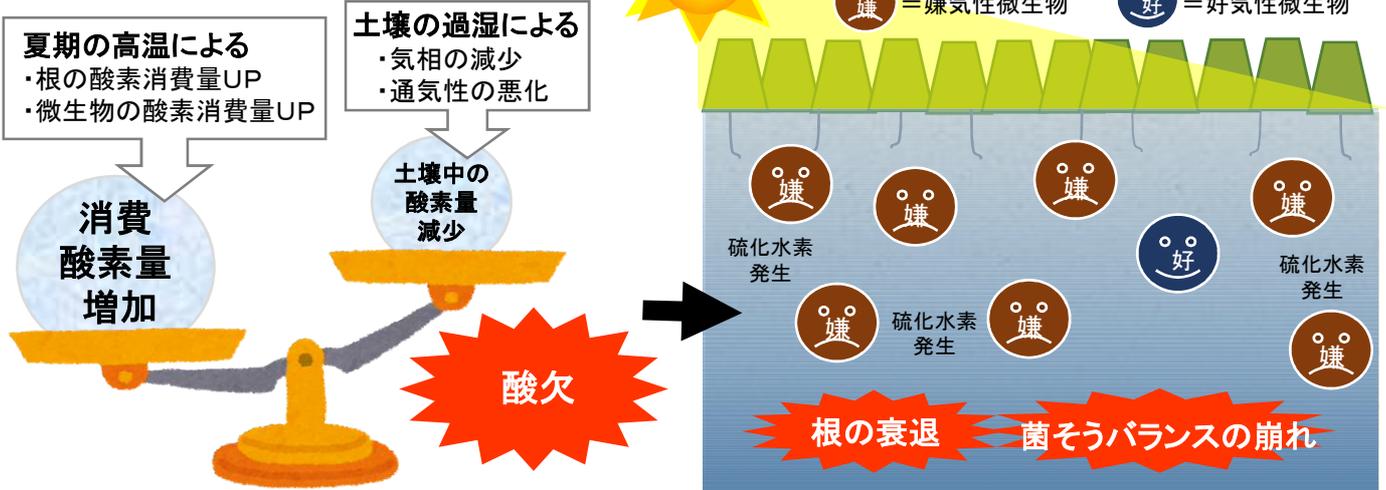
本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある16種類の有用菌を選抜した微生物資材です。製剤1g当たり約400億個の菌が配合されているので、土壌中でも安定した効果が期待できます。ラフ・FWは低価格のサッチ・マネージャー、殺菌剤を多用するグリーンには酵素剤サッチ・リムーバーがお勧めです。

**サッチ・マネージャー (微生物資材) 使用量：ラフ・FW 0.1~0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量 0.2~0.5ℓ/m²
サッチ・リムーバー (酵素資材) 使用量：1~2g/m² 0.5ℓ/m²散布 使用回数：月1~2回**

土壤環境を改善して秋の生育期に備えましょう

夏の暑さでダメージを受けたベントグラスは、根が傷み栄養を十分に吸収できない状態です。また、土壤の酸素量が減少し、土壤微生物のバランスも崩れています。秋の生育期間中に出来る限りベントグラスの状態を回復させる為、生育しやすい土壤環境を整えましょう。

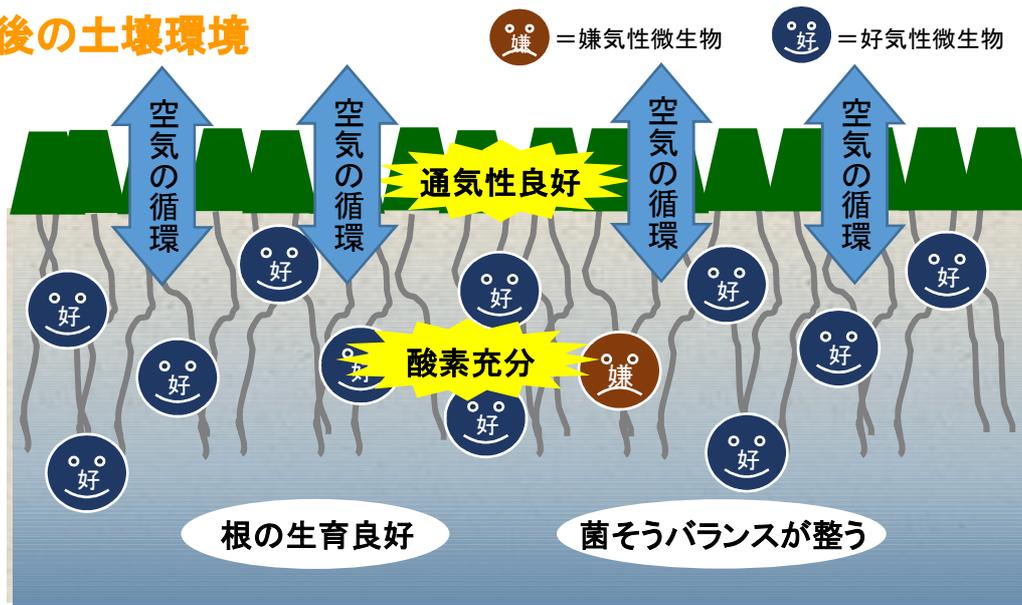
● 夏期の土壤環境



更新作業、界面活性剤処理によって

酸欠状態を改善することで土壤環境が良好になる

● 改善後の土壤環境



土壤環境を改善させてから、アミノ酸※・糖など芝が利用しやすい栄養分を与えましょう。通気性が良好な土壤に、アミノ酸・糖を処理すると、有用な微生物のエサにもなり、菌そうバランスを整えることにも役立ちます。

※窒素は、アミノ酸(有機態窒素)の状態に取り込むと、アミノ酸代謝、タンパク質合成がスムーズに行われる為、弱った芝をより早く回復させることが出来ます